

三谷セキサン株式会社

■本社
〒910-8571 福井県福井市豊島1丁目3-1(三谷ビル)
TEL(0776)20-3333 FAX(0776)20-3306

■東京本社
〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3(オリナスタワー10階)
TEL(03)6284-1390 FAX(03)6284-1391

■北陸支社・福井営業所
〒910-8571 福井県福井市豊島1丁目3-1(三谷ビル3階)
TEL(0776)20-3360 FAX(0776)20-3355

●敦賀出張所
〒914-0076 福井県敦賀市元町5-7(三谷商事(株)内)
TEL(0770)25-2163 FAX(0770)25-2464

●金沢営業所
〒920-0342 石川県金沢市畝田西2丁目25番地
TEL(076)268-1225 FAX(076)268-1228

●富山営業所
〒930-0008 富山県富山市神通本町1-1-19(いちご富山駅西ビル)
TEL(076)433-1191 FAX(076)433-1197

●新潟営業所
〒950-0941 新潟県新潟市中央区女池6-1-21(新潟マルヤマサービス本社ビル3階)
TEL(025)384-0088 FAX(025)384-0045

■関東支社・東京支店
〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3(オリナスタワー10階)
TEL(03)6284-1388 FAX(03)6284-1389

●千葉営業所
〒260-0027 千葉県千葉市中央区新田町7-5(石出ビル2階)
TEL(043)242-8778 FAX(043)242-5108

●埼玉営業所
〒336-0031 埼玉県さいたま市南区鹿手袋1-1-1(プラザホテル浦和内)
TEL(048)866-7300 FAX(048)866-1706

●横浜営業所
〒221-0823 神奈川県横浜市神奈川区ニツ谷町9-1(村井ビル4階)
TEL(045)317-2033 FAX(045)317-2105

■札幌支店
〒060-0062 北海道札幌市中央区南二条西6丁目17番2(トシックス26ビル4階)
TEL(011)206-7771 FAX(011)206-7773

■東北支店・仙台営業所
〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町16-15(プライムゲート晩翠通6階)
TEL(022)216-3450 FAX(022)266-4789

■関西支社・大阪支店
〒540-0031 大阪府大阪市中央区北浜東1番22号(北浜東野村ビル5階)
TEL(06)6920-6611 FAX(06)6920-6622

■名古屋支店
〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目7番26号(錦MJビル6階)
TEL(052)232-1936 FAX(052)232-1935

●静岡営業所
〒422-8064 静岡県駿河区新川2丁目1-40(新川ビル2-D)
TEL(054)654-3501 FAX(054)654-3502

■四国支店
〒761-8003 香川県高松市神在川窪町113
TEL(087)881-2141 FAX(087)881-2177

●愛媛営業所
〒790-0003 愛媛県松山市三番町4-7-7(愛媛汽船松山ビル4階B号室)
TEL(089)986-3921 FAX(089)986-3926

■広島支店
〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2(あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル8階)
TEL(082)242-3307 FAX(082)242-3308

●岡山営業所
〒710-0837 倉敷市沖新町92番17(サングレイスビル3階 302号室)
TEL(086)441-5770 FAX(086)441-5771

■九州支店・福岡営業所
〒812-0036 福岡県福岡市博多区上呉服町11番16号(TAKAI B.L.D3階)
TEL(092)271-8411 FAX(092)272-0068

●佐賀営業所
〒840-0813 佐賀県佐賀市唐人2丁目5-8(佐賀中央通ビル5階)
TEL(0952)22-8541 FAX(0952)22-8547

●熊本営業所
〒861-8002 熊本市区北区弓削4-1-64(マルソールビル403)
TEL(096)273-7108 FAX(096)273-7118

●鹿児島営業所
〒892-0846 鹿児島県鹿児島市加治屋町18番8号(大樹生命ビル)
TEL(099)226-7297 FAX(099)222-3413

●沖縄営業所
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち4丁目7番1(カーサヴェルディ405)
TEL(098)863-1201 FAX(098)863-1206

三谷エンジニアリング株式会社

■本社・福井営業所
〒910-0006 福井県福井市中央3-1-5(三谷中央ビル2階)
TEL(0776)23-2255 FAX(0776)23-2256

●金沢営業所
〒920-0025 石川県金沢市駅西本町1-14-29(サン金沢ビル4階)
TEL(076)264-4800 FAX(076)264-4880

MITANI SEKISAN CO.,LTD.

<https://www.m-sekisan.co.jp/>

MITANI ENGINEERING CO.,LTD.

<https://www.mitani-eng.jp/>

⚠ 注意とお願い

- 本カタログに掲載しました仕様は、2024年1月1日現在のものです。
- 掲載した仕様および内容は、予告なく変更する場合があります。
- 掲載した工法、および製品によって建築物の基礎を設計する場合、関連法規等を遵守して、適正な設計をしていただきますよう、お願いいたします。
- 地域により地盤・土質性状が異なり、各製品、工法での施工性能が均等に発揮できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 工法に関しましては、施工現場の立地条件等により、ご希望の仕様で施工できない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログに記載された施工については、三谷セキサン株式会社、または三谷エンジニアリング株式会社が行います。
- 本カタログに関するご不明な点、または詳細な内容につきましては、本社または各営業所にお問い合わせください。

本カタログ掲載の製品・工法に関して問題が発生した場合には、下記の免責事項を踏まえた上で、当社にて対応させていただきますので、お願い申し上げます。

⚠ 「免責事項」

- 本カタログに記載された事項に反した設計・施工により問題が発生した場合
- 標準仕様以外に使用者の指示した仕様、施工方法等により問題が発生した場合
- 標準仕様以外に使用者から支給された材料・部品により問題が発生した場合
- あらかじめ定めた用途・部位以外に使用し、それにより問題が発生した場合
- 三谷セキサン株式会社、または三谷エンジニアリング株式会社以外の会社によって施工され、これにより問題が発生した場合
- 使用者もしくは第三者の故意、または過失により問題が発生した場合
- 引渡し後、構造・性能・仕様等の改変を行い、これにより問題が発生した場合
- 瑕疵(カン)を発見後、すみやかに届けがなされず、これにより問題が発生した場合
- 構造物の変形・老朽化・外部からの衝突等・製品以外の外的要因により問題が発生した場合
- 開発・製造・販売・施工時に通常予想される環境(温度・湿度・水位・地盤状況・その他)等の条件以外における使用に起因する問題が発生した場合
- 地震・落雷・風害・津波などの天災により、設計時に想定された以上の不可抗力が原因となり問題が発生した場合
- 火災または地震・落雷等による2次的災害により問題が発生した場合
- 戦争・外国の武力行使・内乱・その他これらに類似した事変や暴動により問題が発生した場合
- 核燃料物質による放射性・爆発性その他有害な特性により問題が発生した場合

MSコラム・E工法

スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法



三谷セキサン株式会社



三谷エンジニアリング株式会社

MSコラム・E工法

スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法



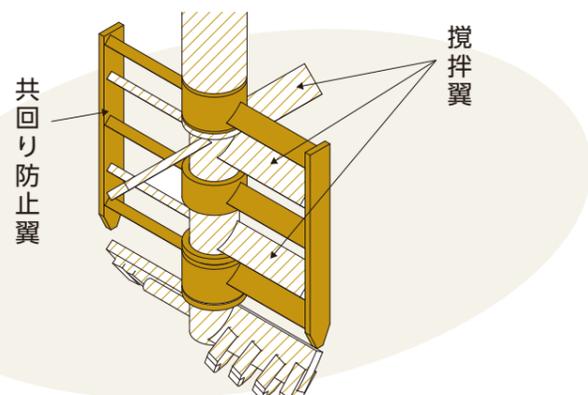
MSコラム・E工法は、セメント系固化材のスラリーを吐出しながら地盤を掘削攪拌することで、柱状の地盤改良体を築造する機械攪拌式深層混合処理工法です。400~2,000kN/m²の設計基準強度を確保でき、改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土および粘性土で25%が採用できます。

建築技術性能証明書



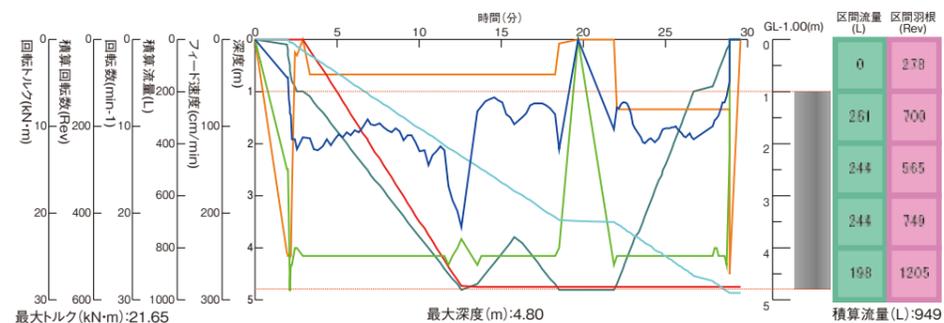
攪拌機仕様

外軸と中軸を有する二重管構造となった攪拌機となり、連結された三段の共回り防止翼と二段の攪拌翼で確実に地盤を細断・混合攪拌します。



施工管理システム

オペレータ、工事責任者等がオーガトルク値、スラリーの流量、掘削深度等の施工状況をリアルタイムで管理することにより、高精度な品質管理が可能になります。



● 諸元・性能一覧

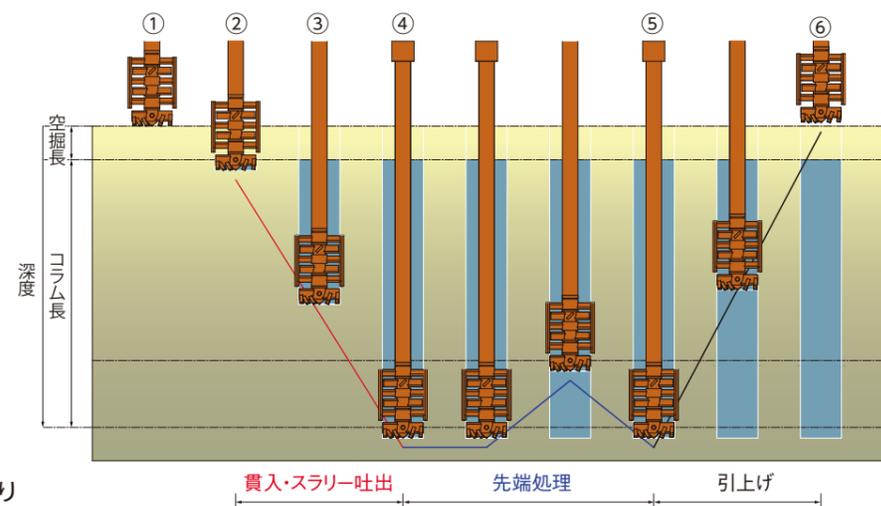
コラム径	600mm~1,000mm	設計基準強度	400kN/m ² ~2,000kN/m ²
最大施工長さ	13.5m	改良形式	杭形式(杭配置、接円配置)、壁形式
適用地盤	砂質土、粘性土	適用構造物	建築物、擁壁、構造物の基礎

● 工事施工者及び管理者

三谷セキサン株式会社または
三谷エンジニアリング株式会社

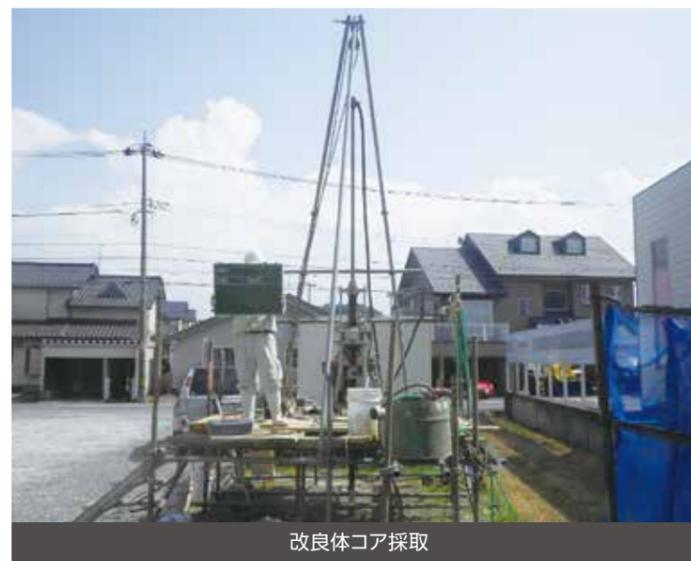
標準的な施工順序

- ① 地盤改良機の位置決め**
所定位置に地盤改良機をセットする。攪拌軸の鉛直性を確認する。
- ② 貫入(空打ち部)**
攪拌軸を回転させながら貫入する。
- ③ スラリー吐出・貫入攪拌**
所定流量の固化材スラリーを吐出しながら所定の羽根切り回数(560回/m)を確保できる速度で貫入する。
- ④ 先端処理**
コラム先端深度で攪拌機を保持した状態で20秒間以上攪拌する。その後、コラム先端深度から1.0m引上げ、再貫入(ダブルリング)を行う。
- ⑤ 引上げ攪拌**
攪拌翼を逆回転させながら所定の羽根切り回数を確保できる速度で引き上げる。
- ⑥ 引上げ(空打ち部)**
攪拌翼を逆回転させながら引き上げる。



品質管理

全国の様々な地盤において試験を実施し、品質を確認しています。



改良体コア採取



改良体杭頭部



改良体掘出し状況



全長ボーリングコア



一軸圧縮強さ測定状況